

SBS

※SBSは、正文舎（SyouBunSyaの略です）



《不定期連載》

正文舎の制作事例
Review of CREATION

《今回のお客さま》

北海道大学大学院
国際広報メディア・
観光学院
様

正文舎のアレやコレ。

今月のキーワードは「X」

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

X chromosome ————— CUDが必要なワケ

TOPICS ————— 「紙お譲りします」実施報告

New&Goods — 行動を変えると変化のスピードがはやい

Focus on JAPANESE ————— にくづき



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。

X chromosome

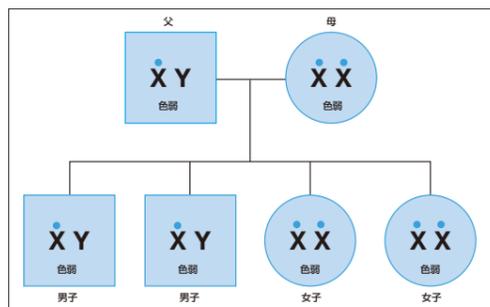
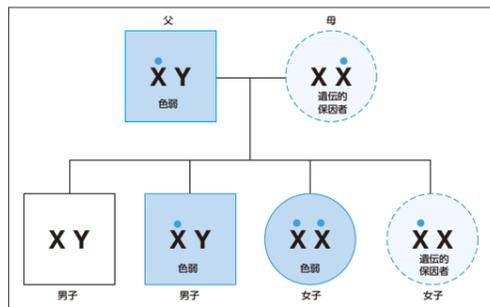
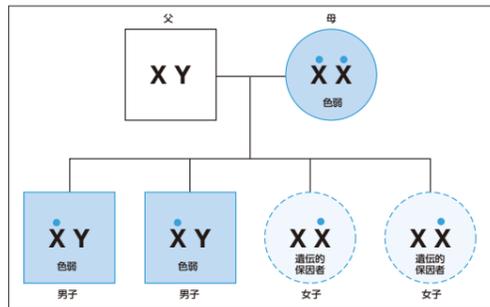
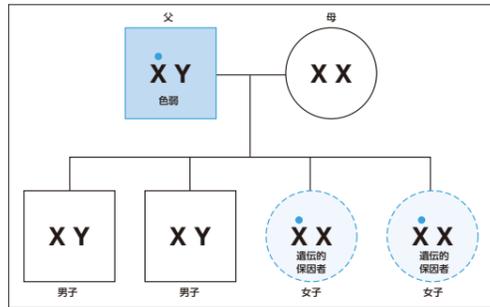
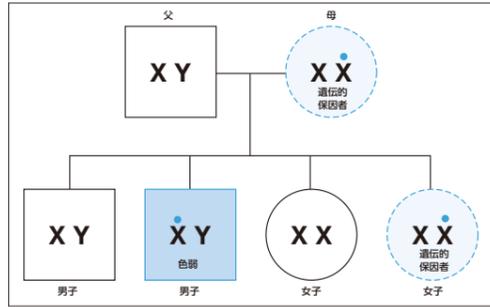
Text_Narita Sadayuki

カラーユニバーサルデザインが必要なワケ

色の見え方や感じ方が違う、さまざまな人に配慮して、なるべく全ての人に情報がきちんと伝わるように利用者側の視点に立って作られたカラーユニバーサルデザイン (CUD) については、本誌でも何度か取り上げてきました。

いわゆる色弱と言われる方々は、日本人男性の20人に1人(5%)、女性では500人に1人(0.2%)の割合でいます。札幌市で約48,000人、北海道で135,000人、日本全体では300万人以上とされています。世界では2億人を超えます。

éks króumæsóum [名詞] X 染色体



色弱は病気などで発現するのではなく、「X chromosome(X染色体)」上の遺伝で受け継がれる一つの「個性」です。

男性はXY、女性はXXという遺伝子をもっており、Y遺伝子は父親から、X遺伝子は母親から遺伝します。

女性の場合は、X遺伝子が2つあるので、1つだけに色弱の遺伝子があると「保因者」となります。日本人の場合10人に1人とされています。2つのX遺伝子とも色弱の遺伝子だと発現します。

このように色弱は病気ではないので、色弱自体を「無くす」ことや「治す」ことはできません。今は色覚補正メガネ等も販売されていますが、まだまだ高価で色弱者の経済的負担は否めません。しかし、情報発信者(制作者)が、色覚変化の現象を理解し、ちょっとした創意工夫をすることで、モノの「見え方」で“不便”を感じている人の数は減らすことができるはずで

- 『カラーユニバーサルデザインの3原則』というものがあります。
- 実際の照明条件や使用状況を想定して、どのような色覚の人にもなるべく見分けやすい配色を選ぶ。
 - 色だけでなく「形の違い」「位置の違い」「線種や塗り分けパターンの違い」などを併用し利用者が色を見分けられない場合にも確実に情報が伝わるようにする。
 - 利用者が色名を使ってコミュニケーションすることが予想される場合、色名を明記する。

家の中に何人いますか？



大人2人が見えにくい方がいます。



大人2人を「白く括る」ことで認識しやすくなります。

※1型2色覚(P型)の方の見え方のシミュレーションです。色見え方には個人差があります。

しかし、これだけでは色の変化を気にするあまり、野暮ったいデザインになったり、地味な色使いに陥りがちです。そこで北海道カラーユニバーサルデザイン機構の栗田さんが提唱する

- (+1) その上で、**見て美しいデザイン**を追求する。
- ということを意識して、これからも仕事をしていきたいと考えています。

〈参考資料〉
 ・「人権に配慮したカラーユニバーサルデザインと情報アクセシビリティ」(北海道カラーユニバーサルデザイン機構 <http://www.color.or.jp> 栗田マサキ)
 ・「広報に関する色のガイドライン」(札幌市)

TOPICS

考	弊	コ
え	社	ロ
て	に	ナ
み	で	禍
た	き	の
。	る	な
	こ	か
	と	、
	を	



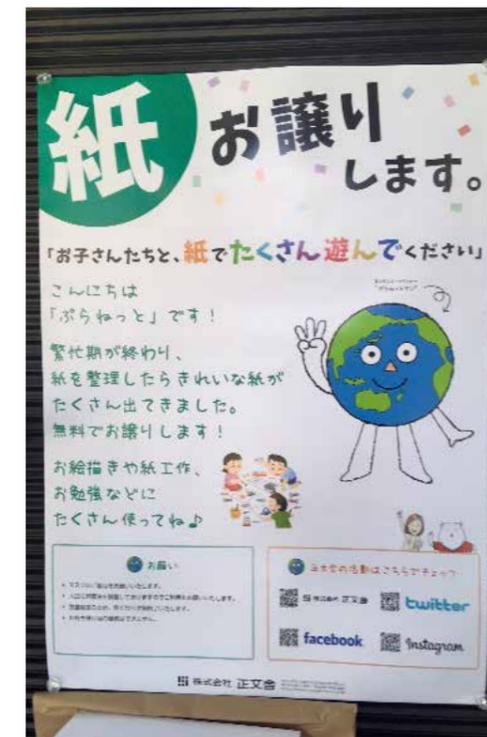
5月27日(水)~6月5日(金)までの期間、弊社印刷工場から出た廃材の紙を希望する方にお譲りするイベントを実施しました。

4月に繁忙期が終わって印刷工場を整理し、キレイですが廃棄するしかない紙が出ました。その頃、札幌市では新型コロナウイルス感染拡大防止策により学校の休校が長引いていて、外出自粛が続く子どもたちに紙を提供し、お絵描きや紙工作、計算用紙などに役立てていただければという思いから企画しました。

今回は新型コロナウイルス感染予防のため、弊社スタッフがお客様と立ち会うことはせず、弊社の正面玄関に紙を置いておき、自由に好きなだけお持ち帰りいただく形をとりました。

「紙お譲りします」実施報告

Text & Photo _Honma Kazumi



お客様の顔は見えませんが、毎日準備した紙が少しずつ減っているのを見て「紙を使ってくださっているのだな」と嬉しく思っていました。取りに来ていただいた皆様、ありがとうございました。

設置しておいたご意見ノートには沢山の温かいメッセージをお寄せいただきました。また弊社Twitter・Facebook・Instagramにもコメントをくださった皆様、本当にありがとうございました。またお譲りできる紙が出たときには、弊社WEBサイトやSNSでお知らせいたします。



にくづき

入院経験のある方ならわかると思いますが、入院していろいろ書類を書かなければならないのがとても面倒ですね。先日母が入院した折も何枚もの書類を書かされましたが、特に病歴を書く書類は、それはそれは大変でした。87才の母は50才前後から次々と病気に罹患しており、記入欄が足りなくなるのではないかとと思うほど。その大部分の期間、子供2人は傍におらず、夫は当てにならず、よく自力で克服してきたねと労ってあげたい気持ちになりました。

心臓、脾臓、盲腸、大腸、脳……。書類を書きながら、そういえば昔学校で、体に関わる漢字には月が付くって習ったな、などと考えていました。ご存じのように、この「月」は「肉」が変化した「にくづき」で、「服」の偏である天体由来の「つき」とは異なります。見た目は全く同じなのにややこしいですね。

漢字をPCで検索したり、字書で調べるときには、部首索引を利用することが多いかと思います。その際、この漢字はどの部首で調べたらいいのか迷うことはありませんか。

先ほどの「月」で考えてみましょう。ある字書の部首索引を見ると、6画のところ「肉」とあります。これがにくづきです。4画の「月」とははっきり区別されています。索引の4画のところにも「月(肉)」のように出てはいますが、そもそもにくづきを知らない人には何のことやらわからないのではないのでしょうか。つまり、「臓」の偏「月」は「肉」が由来、と知らなければなかなか辿り着けないわけです。

漢字のどの部分を部首とし字書に配列するかは、意



Photo_Adobe Stock

味から分類する字義主義か、見た目から分類する字形主義かによって異なります。たとえば、字義主義なら「脳」と「服」とは違う部首、字形主義なら同じ部首になるのです。

逆のパターンもあります。小(したごころ)、↑(くりっしんべん)はいずれも「心」の変形ですが、字義主義ならどちらも部首は「心」、字形主義なら2つは独立した別々の部首になります。

また、「巡」という字は、字義主義なら「⋯(まがりかわ)」に、字形主義なら「辶(しんにょう)」に区分します。そもそも部首とする部分が異なるのです。

どの立場をとるのかは統一基準があるわけではありません。字書を作る側の考え次第。だからややこしいですね。

※部首：字書で、漢字配列の目安となる漢字の各部の共通部分。偏・冠・旁(つくり)など。

校正の現場から。

少し前、検察庁法改正案の報道で、「三権分立」という言葉が頻りに報道に登場していました。立憲民主党の枝野代表はこれを「さんけんぶんりゅう」と読んでいたのですが、あれ、私たち確か学校で「さんけんぶんりつ」って習いましたよね。

調べてみると、法学の世界では「さんけんぶんりゅう」ってよく言うんだそう。法学部出身の方ならあたりまえに知っているのかな。なるほど、枝野代表のプロフィールを見ると、法学部出身、元弁護士となっていました。

行動を変えると変化のスピードがはやい

企業としても個人としても、変えなくてはいけないと思いつつ、なかなか変えられないことがあるのではないかと思います。もちろん正文舎にも、経営課題があります。

変化しようと言いつつも、何を変えようか延々と考えていることではないかと思います。

今回新型コロナウイルスの対策で、「変えよう」というだけではなく、同時に行動も変えたことがあったので書いてみます。

私がすぐに取り組んだのは、総務部の担当業務の見直しでした。

コロナ対策では、早急に借入れや補助金・助成金に対応する必要があります。ですが、それまでの体制では、ほかにも業務がありスピーディに進めることがなかなかできない状況だったのです。ですので、資金繰り担当者は集中してその仕事ができるように、その他の仕事をほかの担当者に振り分けました。

「今までと違うことをする」ということで、それぞれのスタッフの気持ちは複雑だったと思います。ですが、社長から指示される、経営の重要事項に関しては、

社長が期待している返答期日よりもはやく、そして忠実に進める必要があると確信しています。そうでないと、変化に対応できません。ですので、担当者が最重要事項を最優先で、ほかのことを気にせずに取り組める環境が必要だと思いました。

変更してみても気づいたことは、担当を変えても仕事を進められることです。新しい担当者は慣れていないので、業務を終えるまでに時間がかかります。わからないこともあるので、もとの担当者に質問をすることもあつたでしょう。それでも仕事は進んでいます。経験の差やスキルの差はあつても、仕事の能力には差はないのです。この判断が正解かどうかはわかりません。ですが、今のところ大きな問題はないと思っています。

そして、仕事の内容が変わつたので、徐々に担当者の意識も変わるでしょう。担当者の意識が変わるということは、関連する業務をしている他部署にも影響があります。

新型コロナウイルス問題の発生で変えざるを得なかったことですが、意識だけではなく、行動も変えた方が変化のスピードがはやいと学んだのでした。



Photo_Adobe Stock

《今回のお客さま》

北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院 様 (以下敬称略)



ドローンによる空撮動画が閲覧できます。

インフォグラフィックス (情報を視覚的に表現する手法) を取り入れて強みを表現しました。



北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院のWebサイトのリニューアルを行いました。

<https://www.imc.hokudai.ac.jp/>

同学院は、観光・メディアの両分野を学べる、日本でオンリーワンの国立大学大学院です。

こうした強みを伝えられるよう、お客さまの戦略的広報方針 (ブランド力、マーケティング力、パブリックリレーションズ (PR) 力の向上)、及びハイスペックな仕様 (ヒューマンセントリック、ワンカラム・レスポンシブデザイン、高度検索機能、SNS連携等) に、お客さまとコ・ワークしながらお応えするとともに、弊社独自の提案 (インフォグラフィックス、ドローン映像等) も取り入れさせていただきました。



インフォグラフィックス (情報を視覚的に表現する手法) を取り入れた強み紹介ページはこちら。
https://www.imc.hokudai.ac.jp/about/why_imcts.html

レスポンシブデザイン (スマホ対応) も行いました。



<https://www.imc.hokudai.ac.jp/rfmc/>



また、関連する3サイトも
同じデザインテイストで
リニューアルしました。



<https://ceams.imc.hokudai.ac.jp/>

<https://www.imc.hokudai.ac.jp/lang/>

《お客さまとの関わり》

企画・制作（デザイン、CMS更新）のほか、主な写真・動画の撮影を担当させていただきました。
今後、入学を検討される希望者（学生、留学生、社会人）の方々に、お客さまの特徴と魅力が余すところなく伝わることを願っております。

Webアクセシビリティ

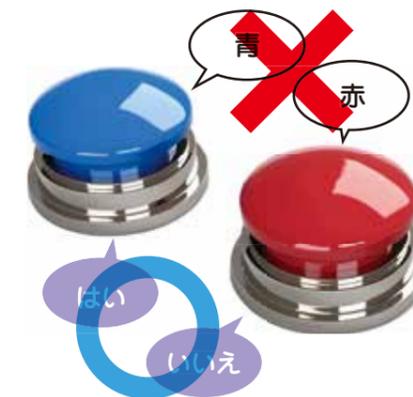
目 本では2016年4月に「障害者差別解消法」が施行され、障害者を不当に差別することが禁止されました。こうした動きの中で、行政機関のホームページは「Webアクセシビリティ(レベルAA)」に対応させることが義務づけられるようになりました（民間企業は努力義務）。つまり、障害者でも健常者と同じように情報を入手できるホームページを作ることが必要になりました。

■Webアクセシビリティとは

障害者だけでなく高齢者や一時的に身体に障害を負った方など、より多くの方がホームページから情報を得られるようにと考えられた規格です。（JIS X 8341-3）

例えば、目の見えない方も、読み上げソフトを使ってホームページから情報を入手することができますが、例えば色でしか判別できない情報が入っていると、色は読み上げられないので理解することができません。

例「はい」の方は青いボタンを、「いいえ」の方は赤いボタンを押してください。



Photo_Adobe Stock

この場合は、ボタンを色で区別するのではなく、ボタン名に「はい」「いいえ」と付ける必要がありますね。Webアクセシビリティの規格では、「色が、情報を伝える、動作を示す、反応を促

評価・対応、研修、コンサルティングいたします。



す、又は視覚的な要素を判別するための唯一の視覚的手段になっていない。（レベルA）」という達成基準が記載されています。

このほかにも、様々な達成基準がWebアクセシビリティで設けられているのです。

正文舎では、Webアクセシビリティ準拠のホームページを作成することが可能です。また、評価のみ、研修のみといったコンサルティングも承ります。

■こんな方へ

- ☑自治体でホームページを運営しているが、アクセシビリティに対応を求められている。
- ☑自治体から業務委託されているが、ホームページ制作とアクセシビリティ対応を求められている。
- ☑学校・病院・介護施設など、ホームページで情報を広く発信する必要があるため、アクセシビリティにも配慮したい。
- ☑公的なイベントを開催するため、ホームページはアクセシビリティ対応したい。
- ☑ホームページの制作会社だが、アクセシビリティについて詳しくないので、業務委託したい。

★印刷物のカラーユニバーサル対応なども可能です。
ぜひお問い合わせください。

《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]

〒003-0802

北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号

TEL.011-811-7151

FAX.011-813-2581

[東京オフィス]

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7

オリेंट赤坂モートサイド805

TEL.03-5413-4016

FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【 商業印刷物 】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物 流 資 材 系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【 出版印刷 】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【 業務用印刷 】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリエーション、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>

各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営

情報をクリエイト

株式会社 正文舎

札幌本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリेंट赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C9200において、在庫紙を使用し、オンデマンド印刷・インライン製本をしています。



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定のメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの資格を持った制作者が多く在籍しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会によるCSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840 / ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 情報セキュリティマネジメントシステムの認証取得をしています。



ぶらねっと
©2008 syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときにどこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer ■ Narita Sadayuki
Topics Writer & Editor ■ Honma Kazumi
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Review of CREATION Writer ■ Ebina Mikiko
Editor ■ Tokunaga Moe
Digital Printing ■ Narita Sadayuki

CR_labo in SYOUBUNSYA